



HOME

CONTENTS

桃陰サッカークラブの
お知らせ

現役からのお知らせ

リンク

現役からのお知らせ

◎新人大会 3回戦の結果

2008年 1月27日(日) 12:35 K. O. (藤井寺工科高校G)



	0	1	
天王寺 1			4 東海大仰星
	1	3	

先週と同じく気温は低いものの風は穏やか、まずまずのコンディション。立ち上がりから早い出足のチェックで相手の攻撃力を半減させ、五分の展開で進んでいく。だが、やはり優勝候補は15分過ぎからシュートまで持ち込む機会を重ねていく。それでも最後のところで天王寺DFが踏ん張り、相手にも焦りが見え始めてきた前半終了30秒前、CK からヘディングを決められ失点。ゲームプランを完遂しきれずに後半を迎えた。ところが、後半9分1年MF張が速攻のドリブルからミドルシュートを決め同点に持ち込む。この時点で意気は大いに上がったが、前半からの我慢の守備時間は確実にわれわれのスタミナを奪っていた。同点からの3分後、個人技から崩されリードされる。さらに4分後、その10分後と個人技を封殺できず、失点を重ねた。結果は下馬評どおりとなったが、選手は手の届かない相手ではないと体感した。もう少しだけ落ち着いてつなぎにこだわれば、もっと相手に強いプレッシャーをかけ、隙を作ることでもできたであろう。ボールを奪われることを怖がり焦って縦へ急ぎすぎたことが、かえって相手に攻撃のスペースをつくる結果となった。とは言え、やはりこういうゲームを「勝ちきる」にはすべてをレベルアップさせていかなければならない。すべてとはグラウンド上の努力で得られるものだけではない。部員一同、普段の生活から自分にプラスになることは何にでもチャレンジしより主体的な個人が集まった、しなやかで隙のない集団になる誓いを新たにしたところである。

◎新人大会 2回戦の結果

2008年 1月20日(日) 14:15 K. O. (堺西高校G)

	0	0	
天王寺 2			1 茨木西
	2	1	



気温は低いものの風は穏やかで、まずまずのコンディション、立ち上がりから相手の高いボールテクニックを早い出足のチェックで封じ込み、6割以上のボール支配で押し込んでいく。ただ、前半は最後のところで相手DFに体を張って防がれた。後半もサイド攻撃と中央からのダイレクトパス交換による崩しを交互に繰り返し、プレッシャーを与え続けると、8分ドリブル突破から2年FW花房の頭での押し込みで当然の先取点を奪う。その後も攻撃の手を緩めることなく、17分速攻からのこぼれ球を1年FW小川が冷静に決め、その後は落ち着いた展開に持ち込む。しかし、3度のキーパーとの1対1を決めきれないでいると、終了3分前中盤でのキープミスから相手得意の個人技勝負に持ち込まれ、失点。勝負こそ見えていたが、3回戦で優勝候補の東海大仰星にひと泡吹かせるには、甘さの見た終盤であった。3-0で終えなければいけない試合である。

◎新人大会 1回戦の結果

2008年 1月13日(日) 9:30 K. O. (鳳高校G)

	8	0	
天王寺 13			0 府堺工
	5	0	



グラウンドのところどころに水溜りや泥土があり気温も低い、快晴で無風という前日に想定していた以上のコンディションに恵まれ、トーナメントが始まった。U-17リーグでも対戦していたので、お互いに落ち着いた立ち上がりとなった。天王寺は人数のそろわない相手にサイドチェンジからのオープン攻撃や中央でのダイレクトパス交換を繰り返し、早い時間からゴールを奪い続けた。交代枠も最大限 利用し、新しい選手が経験を積んだ。2回戦は「くせもの」という評価の茨木西。今回のようにはいくわけもなく、気を引き締めてま